



B型肝炎患者さんと
その周りの方々のための情報サイト

なるほど^B型肝炎のご案内

<https://www.hbv-pt.jp/>



スマートフォンからもご利用いただけます。

B型肝炎について、患者さんとそのご家族、周りの方々
役立つコンテンツを掲載しています。ぜひご活用ください。

なるほど^B型肝炎 主なコンテンツのご紹介



B型肝炎について、疾患の
基本的な情報や、治療、
予防のポイントなどを
わかりやすく解説します。



B型肝炎ウイルスの「キャ
リア」とよばれる状態の
解説と、キャリアの方が
注意すべき点などについて
説明しています。



B型肝炎ウイルスの感染
リスクの高い行為や日常
生活での注意点などを
紹介しています。

医療機関名

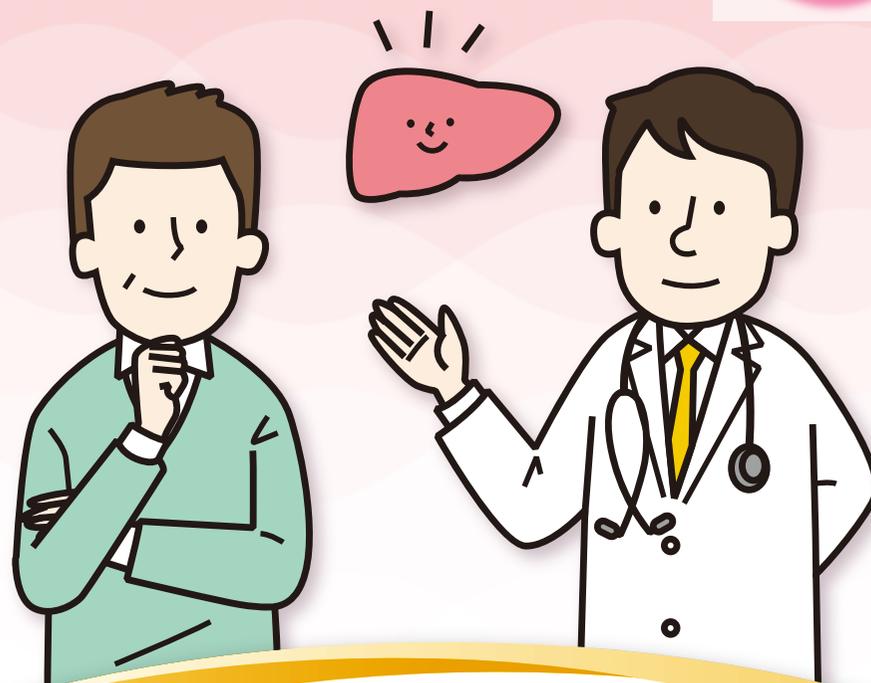
ベムリディを 服用される患者さんへ

監修

虎の門病院
肝臓内科 部長

鈴木 文孝 先生

疾患編



ギリアド・サイエンシズ株式会社

メディカルサポートセンター

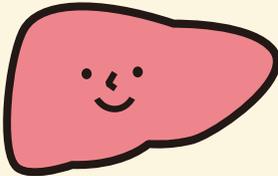
フリーダイヤル: 0120-506-295

9:00-17:30 (土日祝日及び会社休日を除く)

TAF0000000000
2018年0月作成

目次

- 1 B型慢性肝炎とは 3
- 2 B型肝炎の自然経過 4
- 3 B型肝炎治療の目標 5



memo

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

B型肝炎にかかわる検査値について

● HBV DNA(エイチビービーディーエヌエー)

B型肝炎ウイルスの遺伝子で、体内のウイルス量を反映します。そのため治療効果の判定に用いられます。

また、HBV DNA量が高いほど肝発がん率が高くなることがわかっているため、測定できないレベルまで下げること(陰性になること)を目指します。現在の単位は、Log IU/mLです。

● ALT(エーエルティー)

肝臓の細胞に含まれる酵素で、細胞が壊れると血液中に流れ出ます。そのため、値が大きいと肝臓に障害が起きていることが疑われます。正常値は30 U/L以下とされています。

● HBe抗原(エイチビーイーこうげん)

B型肝炎ウイルスが増えるときにつくられるタンパク質です。陽性であることはB型肝炎ウイルスが活発に増えている、感染力が高いことを意味します。

● HBe抗体(エイチビーイーこうたい)

HBe抗原に対してつくられる抗体で、HBe抗原と連動しながら変化します。HBe抗原とは逆に、陽性であることはB型肝炎ウイルスの活動が弱まっていることを意味します。

● HBs抗原(エイチビーエスこうげん)

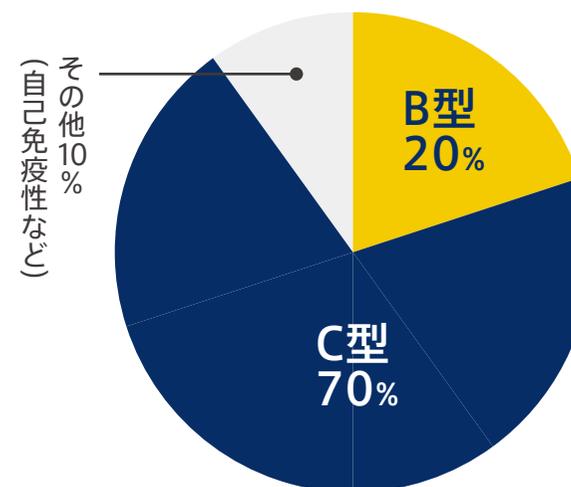
B型肝炎ウイルスの表面をおおっているタンパク質です。陽性であることはB型肝炎ウイルスに感染していることを示します。HBs抗原量が高いほど発がんリスクが高まることが分かっています。また陰性化した場合、薬物治療中止の目安のひとつにもされています。

● 肝臓が炎症をおこした状態が肝炎です

肝炎とは肝臓疾患の一つで、肝臓が炎症をおこし、それによって細胞が壊れてしまう病気です。肝臓の炎症が6ヵ月以上続いた状態が「慢性肝炎」です。慢性肝炎の原因には、ウイルスの感染、アルコールの過剰摂取、肥満など、さまざまなものがありますが、その90%は、肝炎ウイルスの感染によるものです。

肝炎ウイルスにはA型、B型、C型などがありますが、慢性肝炎を引き起こすのはB型とC型のウイルスで、それぞれ国内の慢性肝炎の15~20%、約70%を占めています。B型肝炎ウイルスが原因の慢性肝炎をB型慢性肝炎といいます。

● 慢性肝炎の原因

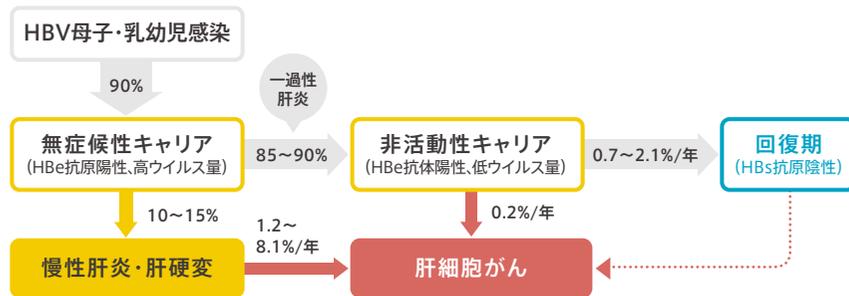


2

B型肝炎の自然経過

- B型肝炎ウイルスキャリアの約10%が、B型慢性肝炎となり、肝硬変、そして肝がんへ

● B型肝炎の自然経過



日本肝臓学会 編:慢性肝炎・肝硬変の診察ガイド2016, 文光堂, 2016:p.11より改変

B型肝炎ウイルスに感染しても、ほとんどの場合、ウイルスを自分の力で抑えることができます。しかし、新生児期～幼児期にB型肝炎ウイルスが感染すると、免疫が未熟なため、ウイルスを排除することができず、ほとんどが症状がないままにB型肝炎ウイルスの感染が持続した「無症候性キャリア」となります。そして、成長とともに免疫も発達し、ウイルスを排除しようとB型肝炎ウイルスに感染した肝臓を攻撃し始めます。

その結果、無症候性キャリアの10～15%の方が、B型慢性肝炎になります。B型慢性肝炎になっても、症状はほとんどありませんが、放置すると、肝硬変へと進み、さらに肝がんを発症するおそれがあります。

なお、B型慢性肝炎にならなかった「非活動性キャリア」の方でも、気付かぬうちに体内のウイルスが活発になる可能性があるため、定期的に検査を受けなくてはなりません。

3

B型肝炎治療の目標

- B型肝炎ウイルスの量を抑えて、鎮静化を目指します

B型慢性肝炎治療の目的は、肝硬変や肝がんの発症を防止することです。そのために、B型肝炎ウイルスの排除を目指しますが、現在の最先端の治療でもB型肝炎ウイルスを完全に排除することは簡単ではありません。そのため、B型肝炎ウイルスが体内で増えるのを抑えて、鎮静化(=肝臓の炎症が抑えられた状態)を目指します。

B型慢性肝炎のすべての患者さんに治療が行われるわけではありません。検査を行って肝臓の状態やウイルスの活発さを判断し、治療が開始されます。治療中は、ALTを正常値に保つこと、HBe抗原とHBV DNA量を陰性化させることを短期的な目標として、また、HBs抗原を消失させることを長期的な目標として治療を続けていきます。

